

田村市指定有形文化財

かえんじょうとつてつきはちがたどき
火炎状把手付鉢形土器



縄文時代中期（約4500年前）の土器で、昭和48（1973）年に今の船引中学校（田村市船引町東部台2丁目）の校庭東側斜面より出土したものです。

高さは35.3cm、上幅32cm、下幅32cmの深鉢形をしており、口縁部から頸部にかけて極端に発達した突起や大胆に描かれた渦巻文など、縄文文化の中でも華麗な装飾芸術が表現されています。